



75 Internationale
Filmfestspiele
Berlin
Berlinale Special
Gala

第75回 ベルリン国際映画祭
ベルリナーレスペシャル ガラ
正式出品作品

ドイツ映画賞4部門ノミネート
(作品・編集・主演女優・助演男優賞)

夢中が
いちばん
美しい。



イド・フルーク監督作品

1975年の ケルン・ コンサート

KÖLN75

MALA EMDE JOHN MAGARO MICHAEL CHERNUS

天才ピアニスト

キース・ジャレットの伝説的ライブを実現させたのは
向こう見ずな18歳の女性だった——。

これは、
嘘のような実話に基づく物語。

青春映画で、音楽映画で、お仕事映画。

そして **無敵のガール・エンパワーメント・ムービー!**



キース・ジャレットのあの穏やかな名盤ライブ・アルバムの誕生に至る物語がここまで泥臭く、ドタバタしたものだったとは、にわかに信じ難いですが、

これが実に面白い!
人生は即興です!

ピーター・バラカン (ブロードキャスター)

ケルンに住む高校生ヴェーラは、音楽好きでナイト・クラビングも大好き。厳格な歯科医の父親への反抗心もあり、ふとしたきっかけで来独ミュージシャンのツアーをブックイングするバイトを始めることになる。仲間たちの協力を得ながら、持ち前のバイタリティを発揮して仕事が軌道に乗り始めた頃、ベルリンのジャズ・フェスティバルに出向いた彼女は、アメリカの天才ピアニスト キース・ジャレットの演奏を聴き、雷に打たれるほどの衝撃を受け、キースのケルン公演の開催を決意する。いくつもの困難を乗り越えて当日を迎えるが、オーダーしたとは違うピアノが手違いで届き、キースは演奏を拒否。開演時間が迫りくる中、ヴェーラは…



世界で最も売れたジャズ・ソロ・アルバム
「ザ・ケルン・コンサート」誕生の裏には、

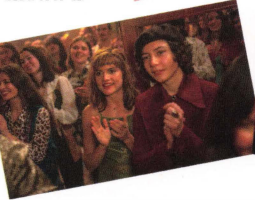
こんなにドラマチックな物語が存在した!

1975年1月24日にケルン歌劇場で、のちに伝説と呼ばれることになるコンサートが開催された。その夜、キース・ジャレットはソロでピアノの即興演奏をし、この録音は後にECM(1969年設立の名門ジャズ・レーベル)から『ザ・ケルン・コンサート』として発売され、世界的ベストセラーとなる。その舞台裏をドラマチックに映画化したのが本作である。監督は、「THE TICKET」(‘16 未)で高い評価を得たイド・フルーク。主演にはテレビ『My Daughter Anne Frank』(‘15 未)でアンネ・フランク役を演じたマラ・エムデを抜擢。キース・ジャレット役には『ファースト・カウ』(‘19)、『セプテンバー5』(‘24)のジョン・マガロが扮し、アーティストックで情熱的なキース像を再現している。



監督:イド・フルーク 製作:ゾル・サンディ エグゼクティブ・プロデューサー:オーレン・ムーヴマン 出演:マラ・エムデ、ジョン・マガロ、マイケル・チャナス、アレクサンダー・シェアー
2025年/ドイツ、ポーランド、ベルギー/ドイツ語・英語/116分/カラー/1:85:1/5.1ch 原題:KÖLN 75 © Wolfgang Ennenbach / One Two Films

字幕翻訳:石田泰子 字幕監修:ピーター・バラカン 配給:ザジフィルムズ



<https://www.zaziefilms.com/koln75/> × koln75JP